

おくたま 町議会だより



153号

平成 22 年 5 月 5 日
発行 奥多摩町議会
電話 (0428)83-2111

第1回定例町議会

第1回定例会は、3月5日から3月23日までの、会期19日間にわたり開催されました。

22年度予算

平成22年度の一般会計を始めとする、各特別会計、企業会計の予算案は、3月6日の本会議初日に提案され、議長を除く議員13名で構成する予算特別委員会に審査が付託されました。3月16、17、18日の3日間にわたり予算特別委員会が開会され、内容説明、質疑等が行われ、23日の本会議で審議の結果、全9会計予算とも原案のとおり可決決定されました。なお、採決を前に反対1名・賛成3名、それぞれの立場から討論がありました。

予算特別委員会での質疑を箇条書きで掲載

議案第23号

一般会計

歳入

- ・ 新しい財源の確保
- ・ 東京都総合交付金の内訳と見通し
- ・ 町ホームページのバナー広告の収入と取り扱い
- ・ 納税者の所得の実態
- ・ 地方交付税増額の可能性
- ・ もえぎの湯入館料を増やす取り組み
- ・ 花粉症発生源対策事業の進行対策
- ・ 国有財産収入の算出基準
- ・ 庁舎使用料の内容
- ・ 歳出
- ・ 観光事業活性化の取り組み
- ・ 子ども手当の町負担額
- ・ 水道一元化施設整備の内容
- ・ 減債基金積立金の根拠
- ・ 司法書士委託料の内容
- ・ 小金井市、福生市の町有地の活用
- ・ バスのダイヤ改正と未走路線の対策
- ・ 町補助事業の金額見直しと見通し
- ・ 地域集会所の増設
- ・ 遠隔予防医療相談事業の活用方法
- ・ 都補助林道の計画と西川林道と入川林道との接続
- ・ 簡易水道施設の今後の管理
- ・ 森林セラピー事業に対して住民の意見と参加
- ・ 出生記念植樹の管理方法
- ・ 空家の活用状況
- ・ ワサビ田モノレールの設置場所
- ・ 鳩の巣荘調査委託の内容と今後の計画
- ・ 日向住宅のデジタルテレビ化の内容と町内の進行状況
- ・ もえぎの湯木質バイオマスボイラー導入設計委託料等の詳細とコスト面での必要性
- ・ 花の里づくり事業の拠点的な実施
- ・ 武蔵野市民の森の現状と方向性

町長提出議案と結果

住宅建設に対応した道路整備の方向性
治助いもの説明
幼児、児童一貫教育
準要保護児童数
美術館の運営計画
給食の残飯の処理方法
放課後子ども教室の内容と成果
友好交流の成果と今後
廃棄小型動力ポンプの処分方法
青少年対策の今後の取組み
公債費比率の目標値
地域防災計画策定委託の内容と町の体制

特に質疑はありませんでした。
議案第26号
国民健康保険特別会計
介護納付臨時交付金の事務手続き
特別調整交付金が倍増した理由
国保税の動向
前期高齢者納付金の内容

議案第30号
下水道事業特別会計
奥多摩処理区で接続しない家庭数
歳入の今後の見込み
多摩川上流域下水道建設負担金の内容

議案第24号
都民の森管理運営事業特別会計
緑の体験事業の内容
ペレットボイラーの灰の処理回数と処理量、肥料化の検討

議案第27号
老人保健特別会計
特に質疑はありませんでした。
議案第28号
後期高齢者医療特別会計
保険料の値上げの可能性
葬祭費の動向

議案第31号
国民健康保険病院事業会計
診療報酬改定の影響
峰谷診療所受託料が無い理由
患者用洗髪車の内容
食事療養サービス利用者数

議案第25号
山のふるさと村管理運営事業特別会計

議案第29号
介護保険特別会計
特に質疑はありませんでした。

以上の9会計予算についての質疑と、町理事者から説明や前向きな答弁が行われ、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

条 例 等

議案第1号
生活館条例の一部を改正する条例

議案第2号
国民健康保険病院事業の設置に関する条例の一部を改正する条例

議案第3号
学校給食センター設置条例の一部を改正する条例

議案第4号
職員定数条例の一部を改正する条例

議案第5号
非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

小林 勤

予算特別委員会委員長

議案第6号

議会委員会条例の一部を改正する条例

議案第7号

川の水をきれいにするための戸別合併処理浄化槽の整備に関する条例の一部を改正する条例

議案第8号

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

議案第9号

職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

議案第10号

日原川流域貯水池対策委員会条例を廃止する条例

議案第11号

東京都後期高齢者医療広域連合と奥多摩町との間における葬祭費の事務委託に関する規約

議案第12号

東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約

議案第41号

訴訟上の和解について

山のふるさと村事件について、東京高等裁判所より和解勧告を受けたため、和解するために議会の議決を求めたものです。

人 事

議案第43号

監査委員（知識経験）
代表監査委員、堀口泰宏氏の任期満了に伴い、次の方を任命することに同意しました。

・滝島勇一氏（新任）
（新宿区若宮町30番地8）

町道の廃止

議案第32号

・八桑寺前線（大丹波）
延長 74・89メートル

町道の認定

議案第33号

・八桑寺前線（大丹波）
延長 168・19メートル

・八桑北線（大丹波）
延長 147・80メートル

・八桑北東線（大丹波）
延長 50・00メートル
・水根線（境）
延長 624・37メートル

工 事 契 約

議案第34号

奥多摩町立小・中学校ICT環境整備（デジタルTV）事業

議案第35号

奥多摩町立小・中学校ICT環境整備（コンピュータ・LAN）事業

議案第42号

児童福祉施設建設工事

工事変更契約

議案第36号

森林活動拠点施設整備工事

議案第37号

奥多摩町学校給食センター建設工事

議案第38号

奥多摩処理区下水道管渠建設工事その9

議案第39号

奥多摩処理区下水道管渠建設工事その10

議案第40号

奥多摩処理区下水道管渠建設工事その11

補 正 予 算

議案第13号

一般会計（第4号）

議案第14号

都民の森管理運営事業特別会計（第4号）

議案第15号

山のふるさと村管理運営事業特別会計（第3号）

議案第16号

国民健康保険特別会計

（第3号）

議案第17号

老人保健特別会計（第2号）

議案第18号

後期高齢者医療特別会計

（第2号）

議案第19号

介護保険特別会計（第4号）

議案第20号

下水道事業特別会計(第2号)
議案第21号

国民健康保険病院事業会計
(第3号)

議案第22号

水道事業会計(第3号)

議員提出議案と結果

議員提出議案第1号

11番、師岡 智議員に議員辞職を求める決議

無記名投票の結果、否決されました。

議員提出議案第2号

永住外国人に対する地方参政権付与に反対する意見書

議員提出議案第3号

幼児教育の無償化と保育サービス
の充実を求める意見書

第2号と第3号については、それぞれ原案が可決され、内閣総理大臣等に対し意見書の提出が行われました。

別文書「議員の賛否」を貼り付け

写真

冬の爪あと

一般質問
22年3月議会では、12日の2日目に8名の議員が質問を行いました。(通告順)

竹内和男議員

町民参加による町活性化について

(答) 提案は長期総合計画に沿ったものであると受け止め、町づくりや計画づくりに関する委員会等に、公募制を導入する等、協働の仕組みづくりを推進したいと考えている

竹内 町民参加の委員会の設置を提案する。若者定住化を始め人口対策の検討、立案を行う委員会 新しい観光事業のプランや推進についての取り組みを行う委員会 奥多摩独自の農産物や物品の開発を立案し推進す

る委員会 新しい奥多摩を広く知ってもらおうPRの立案や推進を行う委員会

町長 資金面で支援措置を講じる若者応援条例の整備、若者住宅を始めとする町営住宅の整備、優良宅地の分譲等の施策を講じている。さらには町独自の子育て支援策として、高校生通学援助事業のレベルアップ、ヒブクチン予防接種費用や給食費の助成、入学時一時金の支給等を新たに実施する等、検討、立案は長期総合計画に沿って進めたいと考えている。

観光ビジョン策定委員会の提案により、すでに一定の成果を得ているが、残る6項目の提案の実現と効果が出てきた段階で検討したい。

新たな農産物の開発は大事であると考えているが、継続的な栽培を行うためには、住民皆様のご協力、ご支援が大切であると思われるので、既存の委員会や制度を活用し、住民皆様の自発的な提案を積極的に支援して

いきたい。

観光パンフレットに比べ、インターネットのホームページは費用対効果が格段に良いので、今後一層の充実を図っていく。なお、観光PRは観光協会が主体的に取り組む事業であり、協会と連携して一層推進していく。

師岡伸公議員

第四期長期総合計画における前期基本計画の評価と後期基本計画について

.....

(答) 全体的には評価できるものである。今後も計画に沿って事業を展開していく

師岡 人口減少が及ぼす行財政運営 高齢者医療制度の変容に伴う町の対応 住民参加の健康意識の高揚 地域特性を活かした環境づくりとして、森林再生事業、森林セラピー事業の現状と今後 公営事業の運営 健全化判断比率の現状の推移

町長 少子高齢化が進行しているところではあるが、森林再生事業やワサビ塾等により、技術の伝承と後継者の育成に努めている。子育てにおいても独自施策も講じ、支援に努めている。財政面では、国、東京都ともに積極的に増額予算を編成され、市町村に厚く支援を行っている。高齢者全般の業務を所管する地域支援係の介護保険担当と統合し、円滑な制度運営を図っている。

前期5年では、様々な施策を展開し保健、健康推進活動を行ってきたが、後期においてもさらに施策の充実を図りたい。

森林再生事業は、毎年着実な成果を上げてきているが、今後と同様に事業を進めていく。森林セラピー事業も、初年度としては順調な滑り出しができた。新年度には事務所の独立化を行い、さらなる事業の充実を図る。

病院改革プランに基づく経営の改善を行い、運営体制の強化、医師の確保を図り、地域医療の充実を図っていく。水道事業は

一元化の準備が整い、将来負担の軽減が大幅に図れる。下水道は、平成27年度の全町完成を目指し、着々と事業進行している。

現時点ではやや高い数値もあるが、平成22年度以降は着実に下がっていく。

奥多摩景観賞の制定について

.....

(答) 奥多摩景観賞を町民の皆様に推薦していただく制度については、今後調査、研究していきたい

師岡 町民の推薦による、「これぞ奥多摩一の景観である」という風景を、「奥多摩景観賞」として制定したらどうか

町長 「奥多摩山歩き絵図」とおり、各地域に多くの文化財や景観が残されており、地域の誇りと自慢となっている。今後、町の美しい景観を町民の皆様に推薦していただく制度について、調査、研究していきたい。

原島伸行議員

より奥多摩っ子育成にさらなる教育の充実を

．．．．．
 (答) 様々な取組みを行っているが、裁判員制度の出前授業についても今後取り入れたい

原島 時代に即した特色ある学習の展開を求める。たとえば、児童、生徒に対する裁判員制度の出前授業の実施等の考えは

教育長 特色ある教育活動としては、奥多摩町の教育資源である地域の産業、自然環境、福祉施設、芸術文化を活用した体験活動を、各教科の中で積極的に取り入れ、地域の方とのふれあいを大切にしつつ、当町に貢献する取組みを行っている。また、21年度には外部人材を活用し、インターネット、携帯電話での犯罪の講演、税理士による税金の話、薬物乱用防止教室等を行った。裁判員制度の出前授業に

についても今後取り入れたい。

酒井正利議員

ゼロ・ウェイスト(ごみ、無駄、浪費がゼロ)の取組みについて

．．．．．
 (答) 今後もリデュース、リユース、リサイクルの3Rをさらに進め、住民の皆様とも協働し、さらに環境対策に力を入れていく

酒井 リサイクル、リユース(再利用)、堆肥化による焼却、埋め立てゴミの削減を進めることは、製品の製造段階から不要になつたときのことを考慮する社会を目指す推進力になると思うが、町の取組み、見解は

町長 現在、クリーンセンターではゴミの細かな分別作業を行い、18種類の資源化を行っており、平成20年度の資源化率は25%となっているが、資源回収

登録団体が年々少なくなっている。自治会等の地域団体での資源回収をお願いできればと考えている。今後もリデュース、リユース、リサイクルの3Rをさらに進め、住民の皆様とも協働し、さらに環境対策に力を入れていく。

家庭用まきストーブの燃料について

．．．．．
 (答) 今後、町としてできる取組みを研究し、間伐材の有効利用を図っていく

酒井 薪ストーブを利用する家庭が増えているが、薪を安く利用する政策はないか。山の活性化にも繋がるのでは

町長 間伐材等は搬出経費が収益を上回ってしまい、化石燃料よりも高価なものとなってしまう。今後、木材の利用促進を図れるよう、町としてできる取組みを研究し、間伐材の有効利用を図っていく。

島崎利雄議員

過疎対策について

．．．．．
 (答) 現状を把握し、ご質問の内容については様々な施策、要望等の対応を行っている

島崎 現状の実態を分析し、その結果の認識は 住民との協働を訴えているが現状は 少子化による児童の減少で学校などの統廃合に対する対応は 高齢化の進行による今後の施策、対応の具体化を 老人会の3自治会での解散の対応 国政、都政に向けての要求と対応は

町長 毎年150人強が減少しており、長期総合計画の目標年度である平成26年度には、5千332人となる見込み。人口減少の要因は、社会減が43%、自然減が57%となっている。

長期総合計画を始めとする様々な施策の計画づくり、各種の活動等に、住民の皆様積極的に

的に参加していただき、住民と行政が協働するまちづくりを進めている。

当町の子どもたちにとって、一番よい教育方法はなにか、教育環境をどう整備していくか等、どのように進んでいくのが最善かを見極め、方針を定めたい。

地域包括支援センターの職員を1名増員し3名としたほか、小規模多機能型居宅介護の整備計画を第五期介護保険事業計画に盛り込むべく、運営協議会等を通じて検討を進めていく。

解散にあたっての相談も町へはなかったことから、その把握と対応がとれなかった。現に活動しているクラブに対しては、都、町補助金を交付し、支援を行っている。

国においては、「過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律案」が可決されたことから、新たに過疎地域自立促進計画を策定し、大規模事業の財源として、有利な過疎債を活用していく計画である。都に対しては、毎年東京都町村会を通じ要

望活動を行っており、その結果としてここ数年、東京都総合交付金が大きく伸びている。

水道料金の値上げについて

（答）口座振替での納付をPRしていく

島崎 都営水道一元化に伴い、料金が増える世帯が発生するが、料金体系のPRを

町長 値上げの最大幅は2ヶ月で105円であるが、口座振替を利用すると105円の割引を受けられるので広報3月号の表紙、ホームページや東京都水道ニュース等を通じ一層のPRに努める。

小林 勤議員

施政方針とこれからの町づくりについて

1 平成22年度の施政方針について

.....

（答）長期総合計画に基づく施策を着実に実行していくことにより、それらが関連しあい種となることを期待する

小林 将来に向けての町長の重点施策と、どのような「夢」の種まきをするか

町長 長期総合計画において5つの「奥多摩創造プロジェクト」を設定しており、「若者定住化創造プロジェクト」では、「若者定住応援条例」を施行し、次代を担う若者の定住を応援していく。また、「健康と子育て創造プロジェクト」では、様々な施策の展開と、児童福祉施設の建設等も予定している。長期総合計画を基本に、これら施策が相互に関連しあい種となることにより、若者の定住と人口増加が図れるよう、一つひとつの施策を着実に実行していく。

2 これからの町づくりについて

（答）国・都を注視し財源確保に努め、在宅生活の支援を図り、学校の今後の方針を定めていく。行政と関係者が連携し、外国人観光客の誘致に努め、森林セラピーのリピーターを増加させ、今後も花の里づくり事業を推進する

小林 政権が民主党に変わり国、都への要望対策と財源確保強化は、超々高齢化を見据えてその対策は、小・中一貫校と中学校の統合論の関連は、外国人観光客の誘致と森林セラピーのリピーター増、花の里を本格化し集客を

町長 政権交代により特に変わった点は現在なく、今後も国・都の財政状況を十分に注視し、町の財源確保に努めていく。

地域包括支援センターの職員増員や、小規模多機能型居宅介護の整備等、今後も在宅生活の

支援を図っていく。

統合も含めた選択肢の中から、教育委員会だけでなく、住民、保護者、学校関係者等のご意見をいただきながら、方針を定めていく。

外国語版のパンフレットを作成しているが、誘致とともに青梅商工会議所の事業の、飲食店向け英語版メニューづくりセミナーにも参加していただいている。継続性のある講習会の実施と外国語版パンフレットで誘致を積極的に推進する。

森林セラピーでは、参加者にアンケートをお願いし、結果を基にメニューの見直しや改善すべき点を検証しており、地道な作業を行うことにより、リピーターの増加が見込めると考える。国立公園内に位置する町として、樹種の限定、統一を図ることにより、PR効果も図れ観光客の増加にも繋がると考えるので、今後も花の里づくり事業を通して、自然と調和した美しい町づくりを推進していく。

増田ひさ子議員

女性の健康を守るため、子宮頸がん予防ワクチン接種に公費助成を

（答）公費助成の実施及び助成金額について、具体的な検討を進めていきたいと考えている

増田 日本で年間3千500人もが亡くなると推計されている子宮頸がんは、昨年厚生労働省にワクチンが承認され、発売も開始された。しかし、ワクチンは高額であり公費助成を強く要望する

町長 このワクチンは10歳台の女性に接種することが最も効果的であるといわれており、当町においてはアンケートでは現時点で公費助成の「予定なし」としたが、他の区市町村及び国の動向を見ながら検討していきたい。また、3回で4万円から6万円となる接種費用の助成金

額についても、具体的な検討を進めていきたいと考えている。

「豊かな心」の育成に、地域をあげて和文化教育の実施を

（答）地域の文化を取り入れた学習は実施しているが、今後は日本古来の文化を学習の時間に取り入れたい

増田 和文化教育は生徒に落ち着きが出たり、内気な生徒が人前で動じなくなる効果がある。また、地域との交流、人材の発掘にもなり、町の活性化に繋がる。町の取組みと考えは

教育長 児童・生徒の豊かな人間性や社会性等を育むために、道徳教育や様々な体験活動の充実、朝読書や読み聞かせ等、読書活動の推進等の施策を進めている。また、小学校では、授業の中で文化団体連盟、あるいは地域の方のご協力により、茶道教室、蕎麦打ち教室、炭焼き体験、郷土芸能の獅子舞等の伝統

文化に触れる取組みを実施している。今後は、日本古来の文化を教育指導や総合的な学習の時間等に取り入れ、他人を思いやる心や感動する心を育むことに繋げていきたい。

前田悦男議員

観光立町の目玉は

（答）森林セラピー事業は大きな成果があった。今後に期待する。観光開発は地域の皆様の協力が必要。奥多摩湖は現況の施設を活用し、地域振興を推進していく

前田 町の推進している「森林セラピー事業」は、低迷する観光の起爆剤になるか 愛宕山周辺の開発を同時に進めるべきと思うが、町の考えは 奥多摩湖面使用の可能性といこいの路の活用、奥多摩水と緑のふれあい館を核とした振興策の考えは

町長 2月末までに述べ1千86名の方の参加をいただき、事業の目的の一つである「来訪者の滞在時間の延長を図る」点については、地域振興の面で目的が達成されていると考えている。事業そのものの集客もあるが、町の良さを認識していただき、再び観光や他のイベント参加等で町を訪れていただくよう努めることで、今後の観光振興に繋がられるよう期待している。

平成18年度から東京都環境局の主催により、奥多摩愛宕山地域連絡会が開催されていたが、一定の成果を得、今年度で終了した。今後も地域の発展のために必要なことは、都に要望していききたいと考えているので、まず地域の皆様で協議を行い、実行できる提案を町に提言していただきたいと考えている。

平成25年に行われる国体の力又一協議を、奥多摩湖で実施することも認められなかった経緯もあり、湖面を利用しての観光振興は非常に厳しい状況である。

いこいの路は、森林セラピーロードの一つにも認定されており、今年度は35回のツアーが開催されている。今後も森林セラピー事業を中心に、この道を活用していきたい。

奥多摩水と緑のふれあい館はバリアフリー化された施設で、年間25万人が入館されており、今後もふれあい館や周辺施設を利用したイベントを継続して開催し、地域振興を推進していく。

町議会だよりの一般質問欄では、紙面の制約から、質問に対する最初の町長の答弁までを掲載しています。この後、再質問が行われ、更に踏み込んだ内容の質疑が行われています。出来上がりは後日になりますが、全部の質疑内容が掲載された会議録を図書館に置きますので、ご覧ください。

議会 日誌

3 月

1日 議会運営委員会

5日 第1回定例会(第1日)

9日 連合審査会

12日 第1回定例会(第2日)

16日 第1回定例会(第3日)

予算特別委員会(第1日)

17日 予算特別委員会(第2日)

18日 予算特別委員会(第3日)

19日 中学校卒業式

青梅警察署長歓送迎会

23日 第1回定例会(第4日)

25日 小学校卒業式

30日 シルバー人材センター定期総会

4 月

1日 町立小・中学校教職員等の辞令伝達式

3日 体育協会総合開会式

4日 青梅・奥多摩交通安全のつどい

6日 小学校入学式

7日 中学校入学式

10日 消防少年団入卒団式

山開き前夜祭

11日 山開き式

12日 学校給食センター完成式

14日 三か町村議会議員広域連絡協議会結婚問題検討部会

26日 西多摩郡町村長・議長合同会議

25日 秋川衛生組合議会

小口事業資金融資制度等審議会

23日 町村議会議員年金制度説明会

20日 議会改革検討委員会

19日 青梅・奥多摩交通安全のつどい

18日 東京都町村議会議員公務災害補償等組合議会定例会

17日 東京都町村議会議長会定期総会

12日 西多摩郡町村議会議員大会

9日 経済厚生常任委員会

4日 消防行政推進会議

1日 国民健康保険運営協議会

- 16日 身体障害者福祉協会定期総会
 20日 議会だより編集委員会
 23日 西多摩郡町村議長会定期総会
 体育協会総会
 24日 山葵栽培組合定期総会
 27日 議会改革検討委員会
 消防二団体合同懇親会
 28日 農林産物直売グループ設立総会

平成22年第2回定例会

第2回定例会は、6月8日ころから予定しています。細かい日程は防災行政無線でお知らせします。
 たくさんの方の傍聴をお待ちしています。

編集後記



政権交代から半年が過ぎたが、鳩山政権の支持率が低下している。政治とカネの不始末、行き詰まりともとれる普天間問題等々、国が抱えている課題が連日報道され、物議を醸している。

新年度がスタートしたが、不況に伴い税収は減少し、日本経済の将来に閉塞感が充満し、国の借金は増え続け、行く末を憂い第三勢力を巡る新党旗揚げの乱立、また首長、新党をも含めた新たな参入にも注目が集まるが、有権者は戸惑うばかりだ。与党として深刻な事態であることを認識し、危機感をもって国民の大きな期待に応えなければならぬ。公約実現にこだわりすぎず、政権の方向性を示せば良いのではないか。

こうした動きに注目することで、政治との距離を縮められれば、と思う。

(原島 伸行)

増田ひさ子 竹内 和男

小澤 春義 鈴木 賢一